

令和6年度 和光市立第四小学校 第1回学校運営協議会 議事録

- 1 開催日時 令和6年4月19日（金）10：30～
- 2 場所 和光市立第四小学校 校長室
- 3 出席者 星谷 光市郎 谷 禮子 榎本 俊明 新井 悦子 富澤 勝広
栗原 眞知子 福田 よう子 阿部 梢 渡邊 丈裕
高橋 郁美（事務局）
- 4 協議会内容
 - ・令和6年度学校経営方針について
 - ・新学期の学校生活について
 - ・年間行事予定について

（質問・意見）

意見「人材バンクとは。」

学校「都合の良い時に都合の良い人ができることをお手伝いいただくことができるよう仕組みを確立し、保護者に協力してもらいたい。」

質問「地域学校協働本部の活動と重なるがいかがか。」

学校「大きな枠組み第三中学校区で行うのは難しいので、初めに第四小の中の保護者様と行い、第四小の基盤を作りたい。」

意見「3月下旬に農家見学や水の学習についてどなたに依頼すればよいかについて相談された。地域の方と連携するためにも、学校と情報しながら取り組んでいきたい。」

学校「その通りである。」

質問「地域の方々にどのように人材バンクについて伝えるのか。」

学校「口コミで広まり、定着していったらいいと考えている。」

質問「人材バンクについて、児童の保護者の協力だけでなく、地域の能力のある方の活用を考えるなど開かれた学校づくりには違った方法もあるので、今後発展していくとよいと考えるがいかがか。」

学校「配信メールで登録をお願いするので迅速に進めることができる。前任校ではお手紙で登録のお願いをしていたので、集約の時間がかかった。地域性も考慮しながら、やみくもに広げるのではなく、一緒にやっていきませんかという気持ちで保護者に伝えていきたい。」

質問「書体的に学習に取り組む児童の育成は重要と考えるが、ICTを最大限に活用し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」についてどのようなイメージをお持ちか。」

学校「タブレットを使いながら自分の考えを考える事、協働的な学びについては先生方が工夫して取り組んでいる。コミュニケーション能力を身につけさせるためにタイピングだけでなく、情報を共有しながら対話をしていく事と考えている。」

質問「教職員の勤務時間外在校時間を削減するという事だが、1日の勤務時間は何時間か。」

学校「1日7時間45分。8:30から17:00である。」

質問「子どもの対応を最優先にすると、時間が無くなると思うが、平日に教材研究をする時間は用意しているのか。」

学校「今年度勤務時間の割振りをした際に、休憩時間を児童が下校の15分後から45分間とした。昨年度会議の時間が長いことが課題だったと聞いているので、運営部を活用して計画的効率的に会議を行い、教材研究等の時間を捻出している。また、職務の分量が偏らないように、教職員全員でやれることはやるようにすることで、時間を捻出する。生徒指導では四小スタンダードを作りこれを根幹として組織でやっていく。」

質問「エアコンの清掃はだれが行っているのか。ノートを使い切って学習がつかないことがあるが、学校として何か取り組んでいるのか。」

学校「みんなでお互い様の気持ちで取り組んでいく。施設設備管理についてはJMが入り一本化するのでは楽になると思う。ノートづくりは大切。担任によってはさっそくノート作りを学級通信で示している。パソコンでまとめることも多い。電子連絡版を活用する予定である。休んだ子にも連絡ができるので。」

質問「昨年度学童崩壊を聞いたが、今年度の様子はどうか。」

学校「学童の人数は多い。定員を超えている。先日生徒指導主任と「四小の生活のきまり」について共有するよう伝えた。学校で活動しているので、共通理解の元指導できるようにしていきたい。」

質問「学校運営協議委員は、守秘義務等についてどこまで責任を負うのか。」

学校「伝えるべき情報はお伝えしていくが、個人に不利益が発生するような個人情報については漏らさないようにしていきたい。」

5 その他

60周年行事について

6 次回以降の日程について

令和6年7月9日(火)、令和6年12月10日(火)、令和7年3月5日(水)の予定

7 教室訪問 給食試食